

「エール」と後輩たちの誕生

2020年4月19日に高崎山第1号赤ちゃんザルが誕生しました。誕生した時は、コロナ禍で休園中でした。コロナに負けずに頑張っていこうといった願いを込めて「エール」という名前を付けました。

母ザルの「ツクヨ」が群れの中で弱いサルになるため、餌が他のサルに比べてとれない事から母乳の出があまり良くないのではないかと、エールの成長を心配していました。そのエールを1カ月、2カ月、半年と見ているうちに、私の心配を裏切るかのように元気よく成長してくれ、半年を過ぎるあたりから、サル寄せ場ではツクヨから離れて友達と遊ぶ姿が頻繁に見られるようになりました。今では立派な男の子に成長しています。

そしてまもなく、エールの後輩！今年の新しい赤ちゃんザルが誕生してきます。お腹の大きなメスザルも目立ってきましたので、皆さん、高崎山の出産シーズン！是非、可愛らしい赤ちゃんザルを見にきてください。



赤ちゃんの頃の「エール」

ご意見・ご要望をおまちしています。



国立公園 高崎山自然動物園

〒870-0802 大分市神崎3098-1
TEL 097-532-5010 FAX 097-536-2500

E-mail / info@takasakiyama.jp
http://www.takasakiyama.jp/

MT Takasakiyama C Member's Club

[高崎山メンバーズクラブ] 会報



国立公園

高崎山
自然動物園

2021.春号
No.102



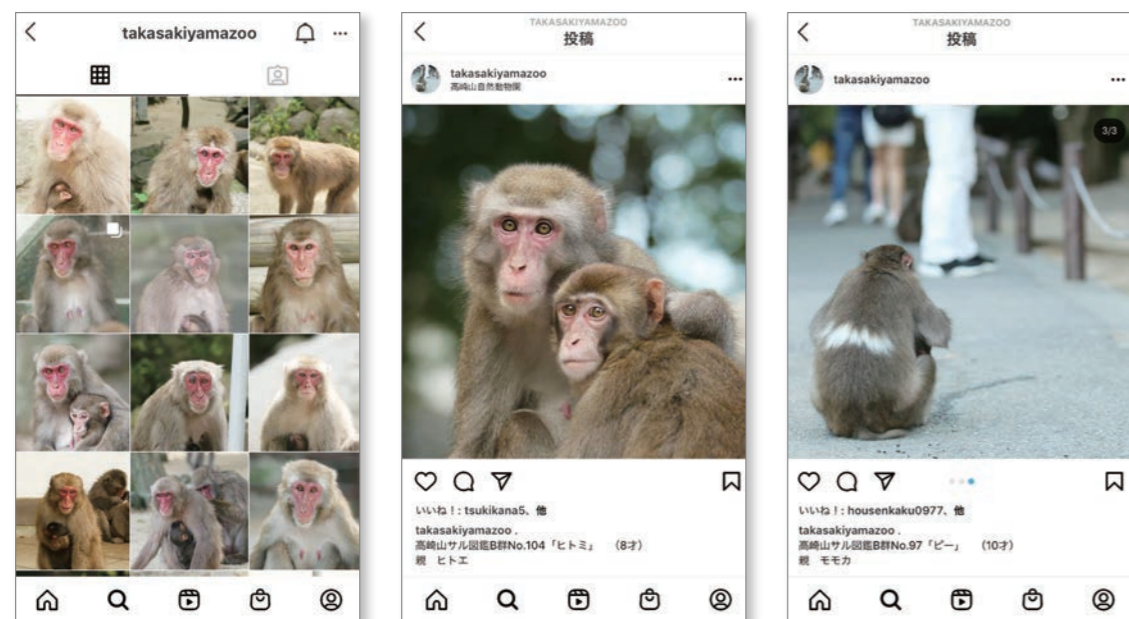
サルはみんな顔立ちが一緒に見えますが、同じ「顔」のサルはいません。可愛い顔やカッコイイ顔、特徴的な顔など、いろんな「顔」があります。

サル図鑑

そして、性格もみんなバラバラです。優しいサル、怒りっぽいサル、面倒見のいいサル、のんびり屋のサルなど、さまざまな性格をしています。

そんな、個性豊かなサルたちをみんなに知ってもらおうと、高崎山自然動物園のInstagram(インスタグラム)では、サル図鑑を更新しています。サルの顔写真、年齢、親子関係、性格などいろんな違いがあって、まるで人間のようにそれぞれの良さがあります。まさに「みんなちがって、みんないい」のです。高崎山自然動物園のInstagramは誰でも見ることが出来ます。「高崎山自然動物園」か「#サル図鑑」で検索してみてください。

ぜひ、サル図鑑で個性豊かなサルを見て、高崎山自然動物園で探してみてください。どこにいるか分からないときはスタッフに声をかけて、一緒に探しましょう。



写真募集中!!

皆さんの撮影したステキなお写真で会報誌の表紙を飾ってみませんか。なお、お写真・データはお返しできませんので、ご了承ください。



スタッフブログ、フェイスブック、Instagram、Youtubeで高崎山自然動物園のサルの出来事を紹介しています。

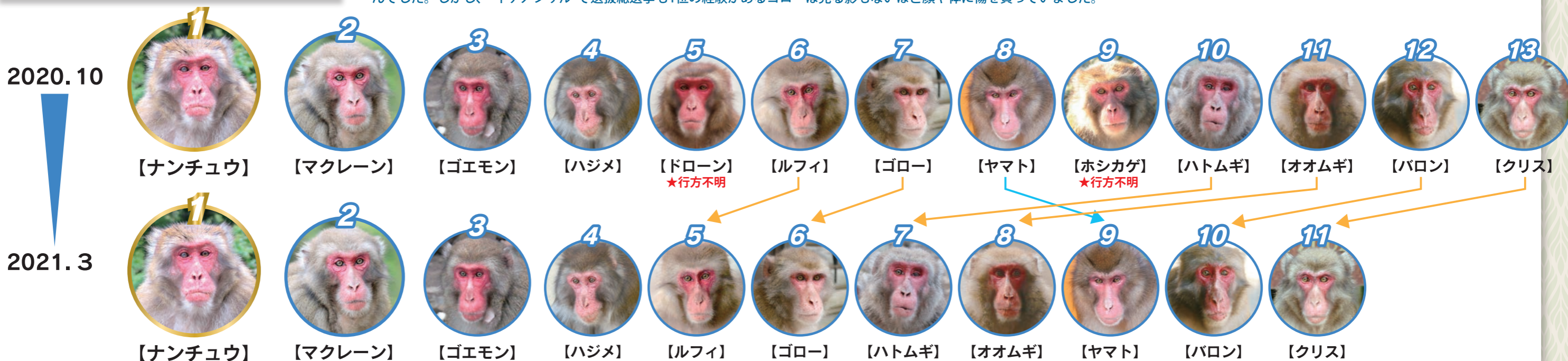
★大分市内の小学生・中学生は入園料無料です。学生証などを見せて入園してください。

写真提供：高崎山メンバーズクラブ会員/中村様(西日本新聞入賞)

高崎山のオスたちは現在・・・

B群 高順位オスの変動 (2020.10~2021.3)

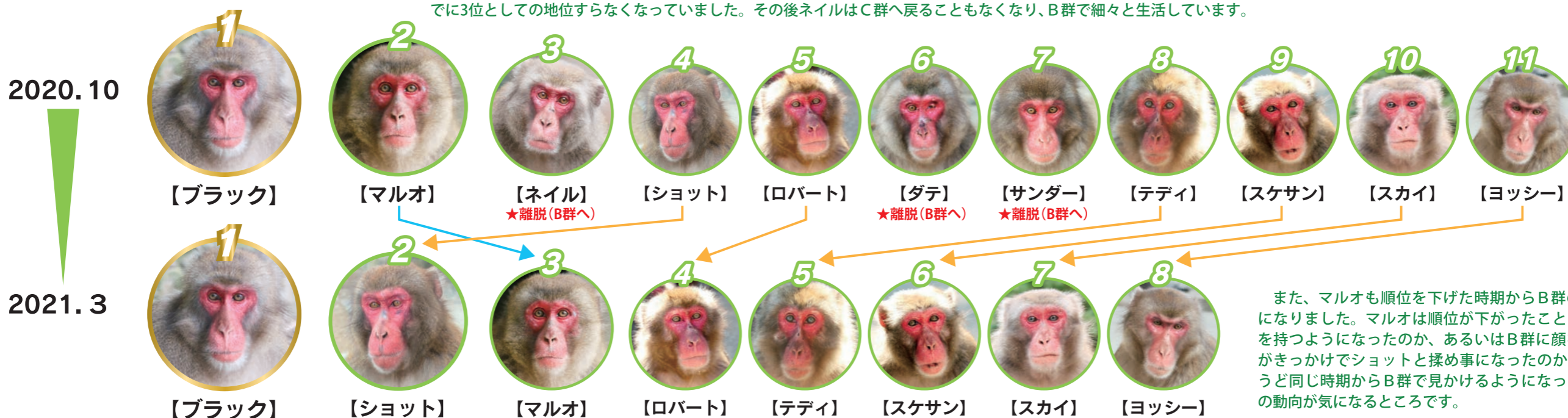
2020年11月から2021年1月にかけて、高崎山のオスザルたちに異変が相次いで起きました。11月、B群8位の「ヤマト」が、10位「ハトムギ」、11位「オオムギ」兄弟に襲撃されるという事件が起きました。これにより8位であったヤマトはオオムギの下まで降格、その襲撃事件のあおりを受けて、9位であった「ホシカゲ」がヤマトから追われて失踪してしまいました。さらに12月には、ハトムギが7位「ゴロー」を襲撃、両者とも傷だらけでボロボロになるも順位の変動などはありませんでした。しかし、「イケメンザル」で選抜総選挙も1位の経験があるゴローは見る影もないほど顔や体に傷を負っていました。



この2件の事件は、どちらもC群から移籍してきた「オオムギ&ハトムギ兄弟」と、B群のオスザルの中で年齢的にも近く普段からじゃれあう姿が見られるほど仲の良かった「ドローン&ゴロー&ヤマト」の間で起きた事件でした。もちろん5位の「ドローン」はゴローやヤマトの側に付き、オオムギやハトムギを追い散らしていました。特にゴローとハトムギの対立は3週間近く続き、ゴローはハトムギを見かけるたびに攻撃する声を発しながら牽制していました。その時は必ずと言って良いほどドローンが傍に控えていたのです。しかし、この緊張感ある対立も突然終わりを告げました。ドローンが失踪したのです。1月中旬から突如としてドローンはサル寄せ場へ姿を現さなくなりました。これにより、後ろ盾を失ったゴローはハトムギを見かけても威圧することはなくなりました。B群の5位以下のオスザル達はこの11月からの数カ月間で、めまぐるしく関係が変わりました。この先さらに、オオムギ・ハトムギ兄弟がドローンという後ろ盾をなくしたゴローに捲土重来を謀る可能性もあります。今後のB群のオスザル達から目が離せません。

C群 高順位オスの変動 (2020.10~2021.3)

また、12月にC群のオスザル達にも重大な変化がありました。2位「マルオ」と3位「ネイル」、4位「ショット」の関係が変わったのです。ネイルは11月頃から、たびたびB群の周辺部で見かけるようになりました。交尾期に入り、C群ではなくB群のメスザルを追いかけるようになったのです。日を追うごとにB群で過ごす時間は長くなり、12月頃にはC群に戻ることもほとんどなくなりました。ネイルが不在としていたC群でさらに事件が起きました。マルオとショットの順位が入れ替わってしまったのです。どちらも顔に大きなケガをしていました。ショットについては昨年、ネイルと何度か順位が入れ替わったこともあり、今回も「三日天下」で終わるのではと見ていましたが、順位が再度逆転することはありませんでした。ネイルがC群へ1月頃久しぶりに戻った時は、すでに3位としての地位すらなくなっていました。その後ネイルはC群へ戻ることもなくなり、B群で細々と生活しています。



また、マルオも順位を下げた時期からB群の周辺部で見かけるようになりました。マルオは順位が下がったことがきっかけでB群に興味を持つようになったのか、あるいはB群に顔を出すようになったことがきっかけでショットと揉め事になったのかは分かりませんが、ちょうど同じ時期からB群で見かけるようになっていました。今後のマルオの動向が気になるところです。

